

## 科学技術振興機構（JST）2025年度 STI for SDGs Award 優秀賞を受賞

千代田化工建設株式会社（本社：横浜市、社長：太田 光治、以下「当社」）は、このたび、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）より、当社が開発した SPERA 水素™システムの開発と、その商業化活動に対して、2025年度の SDGs Award 優秀賞を受賞しました。

STI for SDGs Award は、持続可能な開発目標 SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献することを目的として、科学技術・イノベーション（Science, Technology and Innovation：STI）を用いて社会課題を解決する日本発の優れた取り組みを表彰するものです。

長年にわたる基礎研究の成果として、脱水素触媒である白金ナノ粒子の触媒活性が飛躍的に向上する現象を発見し、自社の強みである化学工学分野の技術との組み合わせで、常温常圧での水素の大規模貯蔵・輸送技術を開発しました。このたびの選考においては、水素の国家備蓄にも適用可能な技術でグローバルな脱炭素社会の実現を目指すものとして、エネルギー問題の解決に向けた長年にわたる研究開発の末に独自の触媒開発に成功し、社会課題解決のための実用化段階への移行を果たした点が高く評価されました。SDGs の達成において水素は非常に重要な技術であり、SDGs 目標 9（産業と技術革新の基盤を作ろう）のほか、目標 7（エネルギーをみんなに）、13（気候変動に具体的な対策を）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）達成への貢献につながるるとともに、他の目標達成を著しく損なうことのない活動として優秀賞にふさわしいと判断されたものです。

当社グループは、今後も持続可能な社会の発展に貢献してまいります。





2025年度 優秀賞



千代田化工建設株式会社

## 水素の大規模貯蔵輸送技術の実用化による脱炭素社会構築の推進活動

### 取り組みの概要について

- ❖ 水素を安全かつ効率的に「貯める」・「運ぶ」技術で、持続可能な水素社会を実現したい
- ❖ 脱炭素社会の実現を通して、地球温暖化防止と経済成長の両立を図りたい

長年にわたる基礎研究の成果として、水素を常温常圧の液体状態で貯蔵・輸送できる技術を確認。実用化段階まで開発を進めている。早期の総合的な水素サプライチェーンの構築を目指しており、脱炭素社会構築に大きく貢献することが期待される。



<https://www.chiyodacorp.com/jp/service/lowcarbon/hydrogen/>  
<https://www.chiyodacorp.com/jp/service/lowcarbon/hydrogen/lohc-mch/>  
 紹介映像: <https://www.youtube.com/watch?v=D7ErVvG1z1A>

国際水素サプライチェーン実証事業の工程 (2020年)  
<https://www.chiyodacorp.com/jp/service/lowcarbon/hydrogen/demonstration/>  
 写真は、次世代水素エネルギーチェーン技術研究会 (AHEAD) の許可を得て掲載

<https://www.chiyodacorp.com/jp/service/lowcarbon/hydrogen/>



### 本賞の紹介パネル (科学技術振興機構作成)

科学技術振興機構 HP

科学技術振興機構 (JST) STI for SDGs Award について

<https://www.jst.go.jp/ristex/sdgs-award/>

2025 年度「STI for SDGs」アワード 受賞取り組みの決定について

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1805/index.html>

各賞の取り組み概要と受賞理由

[https://www.jst.go.jp/ristex/sdgs-award/dl/2025\\_award\\_initiatives.pdf](https://www.jst.go.jp/ristex/sdgs-award/dl/2025_award_initiatives.pdf)